

令和5年度第2回北杜市環境保全基金

活用検討委員会

(令和5年11月29日実施)

会 議 録

北杜市市民環境部環境課

- (1) 会議名
令和5年度第2回北杜市環境保全基金活用検討委員会
- (2) 開催日時
令和5年11月29日(水) 午後1時30分～午後3時30分
- (3) 開催場所
北杜市役所本庁西会議室
- (4) 出席者
委員
協力者代表 矢端孝幸 (升井慎一 代理)
北杜市代表区長 鈴木良長
環境保全関係団体 篠原充
環境保全関係団体 跡部治賢
環境保全関係団体 中村光良 (増田茂生 代理)
北杜市副市長 小林明
北杜市企画部長 中田治仁
- 事務局
市民環境部長 三井喜巳
環境課長 中山由郷
ゼロカーボン推進担当リーダー 谷畑祐介
ゼロカーボン推進担当 大多和健人
- (5) 議題
1. 令和6年度北杜市環境保全事業(市実施事業分)について
2. その他
- (6) 公開・非公開の別 公開
- (7) 傍聴人の数 0名

以下、会議内容

1. 開会

2. 委員長あいさつ

みなさんこんにちは。本基金の検討委員会にご出席いただき、ありがとうございます。

いよいよ暮れも押し迫り、何かとせわしない毎日ですが、それは我々人間だ

けではないようで、全国で野生のクマによる被害が多発しているようです。この件については、生物多様性と安全な生活という両局面から問題視されており、両面の使い分けは難しいと解されております。

現在、北杜市においては2つのエコパークの事業を抱えており、何かと気苦労が多いところですが、本基金の適正な活用をもって根気強く推進されることを望んでいます。

本日は、市が行う事業に関する審査となっておりますので、委員の皆様にはその点を踏まえた活発なご意見をお願い申し上げまして、挨拶とします。

3. 委嘱状の交付

<新任>

北杜市代表区長会 会長 鈴木良長

北杜市地域委員会連絡協議会 会長 古屋昭彦

鈴木委員に委嘱状を交付（小林副市長代読）、古屋委員については欠席

(事務局) 副委員長につきまして、北杜市環境保全基金活用検討委員会設置要綱に基づき委員長が御指名ください。

(委員長) 副委員長については慣例により北杜市地域委員会連絡協議会会長が務めることとなっているが、古屋委員で異議は無いか。

(委員) 異議なし。

4. 議事

(事務局) 本日の「基金活用検討委員会」は審議会であり、この会の透明・公正な運営のため、原則公開となる。また、公開にあたって、あらかじめ委員の皆様にご挨拶のあったところ、ご異議ありませんでしたので、本委員会は公開とします。なお、本日の傍聴人はおりません。

(事務局) 北杜市環境保全基金活用検討委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が議長となります。

(議長) それでは、議長を務めさせていただきます。スムーズな議事進行が出来ますよう、ご協力をお願いします。

なお、本日の出席委員は7名で委員会の成立を報告します。

会議録署名委員は、跡部委員と鈴木委員にお願いします。

(議長) 議事1番「令和6年度基金活用事業（市実施事業分）について」事務局からの説明を求める。

(事務局) 本日、皆様にお集まりいただいたのは、来年度に市が実施を予定している事業の費用について、企業や団体の皆様から頂戴した環境保全協力金を積み立てて運用している環境保全基金を充てることに関する審議です。

各事業については、市の総合計画や個別計画により、目標、進捗、結果、効果といった「事業自体の質」に関する部分については、一定程度担保されているものと思います。本日は、事業の目的や方向性、実施手法、対象者などが、

環境保全基金の目指すべき方向性と合致しているかというところが焦点になるかと思います。

審議の流れとしましては、始めに担当課が資料に沿って事業の説明をし、質疑応答となります。その後、承認または付帯意見（条件付き）での承認、不承認を採択いただきますのでよろしくお願いします。

(議長) No. 1 南アルプスユネスコエコパーク推進事業の審議に入ります。担当課に説明を求めます。

(担当課) まずは、資料の訂正があります。

- ・資料2のP1大分類目標（令和4年度から6年度）について「環境保全向上に対する理解度70%」を「南アルプスユネスコエコパークに関する活動への理解度70%」に修正
- ・令和4年度実績について、環境保全活動に興味がある・実践している市民の割合「85.1%」を「48.2%」に修正

資料に沿って説明

(議長) 質疑を求める。

(委員) 南アルプスユネスコエコパークが10周年ということだが、市民や観光客が取り組みを知ることや、他市町村と連携して10周年を盛り上げるような取り組みはあるか。このようなことを目的に展示会等をするのであれば、追加で予算を要求してもよいのではないか。

(担当課) (山梨、長野、静岡の) 3県の枠組みの中では、総会等において10周年を盛り上げることを確認している。山梨県の中では、韮崎市が10周年を記念するイベントを開催するためにチームを作り、コラニー文化ホールを中心として集客を行うイベントを計画しており、北杜市としても連携できないか検討している。

(委員) チラシ作成の時期は10月よりも早い方がよいのではないか。また、アンケートはどのような内容であるか。

(担当課) チラシはアンケートに添えて配布している。アンケートは事業の目標や指標の評価に用いるもので、市民を対象として無作為で1,000名を抽出している。また、来訪者向けとして、道の駅はくしゅうやキャンプ場等で来訪理由や認知度の調査も実施している。

(議長) 時節の変更は可能か。

(担当課) 検討する。

(委員) 10周年事業の費用対効果について、費用をかけるだけの効果が得られるのかどうか。また、目標の設定について分かるよう(な資料に)にしてほしい。

全ての事業に言えることだが、今年度の事業については年度途中ということの結果が(資料に)入っていないと思うが、目標達成の可否の見込みが分かるよう(な資料)にして欲しい。

(担当課) 看板の設置については道の駅はくしゅうを予定しており、年間来場者数が30万人を超えるため、効果があると考えている。現状48%（環境保全活動に興味がある・実践している市民の割合）を目標の60%、そして70%に向上させるために、広報としてチラシの配布等を含め実施していきたい。

(委員) あくまでも、最初の目標である環境保全活動に興味がある・実践している市民の割合を60%にするための活動ということによいか。

(担当課 北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会長) 4月から就任しました。(ユネスコエコパークに)登録をされてから9年間、色々な活動をしてきたが、もうひとつ、地域に根差したという点が抜けていると感じています。地域の皆さんの認知度については残念な状況であり、来年の6月12日に10周年を迎えることを絶好のチャンスととらまえ、まず広告塔を設置する過程として12月に白州小中学校へ部会の委員を講師として派遣し、南アルプスユネスコエコパークはこういうものである、皆さんの住んでいる地域は景観が素晴らしく良い地域である、また、まだ皆さんに知られていないんだということを、勉強会を開くことによって子ども達に知らせる。さらに、標語を募集し、この活動について勉強してもらい、結果的には親も一緒になって参画してくれることを期待して実施します。そして、最優秀作品を広告塔に掲載したいという計画です。

とにかく、子ども達が胸を張って、我々が住んでいるところは非常に良い所であるということ、みんなに話せるような地域でありたいと思っており、この計画を進めたいと考えている。

(委員) (大分類) 目標が60%に対して(R4)実績が48.2%、残り12.8%をどこから持ってくるかという話で、学校に通っている子供の人数と、活動に参加して理解してもらえる確率を計算して、それにより12.8%が埋まるという説明なら納得できる。そこまで緻密な計算ではなくても、見込める数字があると分かりやすいと思う。事業に反対ということではなく、見込んだ数字が取れる施策を持ってほしいということ。

(議長) 理解度を押し量る前に、認知度アップというご意見があり、そのような取り組みのために広告塔は必要であるという意味でよろしいか。

(委員) はい。

(議長) 南アルプスユネスコエコパーク推進事業について異議はないということによろしいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 本件については承認したものとする。

(事務局) 確認を行う。本件については承認された。担当課においては、頂戴したご意見について業務の参考ととしていただくようお願いする。

(議長) No.2 甲武信ユネスコエコパーク推進事業の審議に入ります。担当課に説明を求めます。

(担当課) 資料に沿って説明

(議長) 質疑を求めます。

(委員) 環境教育事業について、(R4 実績として)理解度が70%得られたとのことだが、どのような内容か。

(担当課) 須玉小学校の4年生にアンケートを実施した。生徒だけでなく家族にも話をしてもらったなかでのアンケートである。

(委員) (環境教育事業、環境保全事業、ブランドの確立・情報発信事業など) 様々な形で貴重な動物や植物、生物などの生息調査を行っているとのことだ

が、調査結果について公表をしているか。データとして蓄積しているか。
(担当課) 調査結果については、関係者向けの冊子を制作している。WEB 等での一般公開は無いが、地域のお祭り等で活動の紹介を行っている。

(委員) 求めれば、データの公開をしてもらえるか。

(担当課) 可能である。

(委員) 検討してもらいたいこととして、南アルプスユネスコエコパークと同じになるが、(R6 年までに甲武信ユネスコエコパーク) 市民認知度 80%ということに違和感があり、目標を達成するために小分類の活動をしているところ結びつかない。大分類の目標があり、その大分類目標を達成するために多くの小分類目標が設定される。全ての小分類目標が達成されると、大分類目標が達成されるという目標設定をするのが普通だと思うが、小分類目標が達成されると(甲武信ユネスコエコパーク市民認知度が)80%以上になるとは思えない。そもそも認知度を80%にするということが、目標設定として正しくないのではないのか。本当の目標がどこにあるのか考えていただきたい。

(議長) 認知度向上に留める事業であるか、という意見であると解される。

(担当課) エコパークの趣旨として自然との共生があり、活動に参加する人数等の目標も検討したい。

(委員) 認知度を上げる一つの方法として、牧丘のスキー場跡地の草地をみんなで草刈りしているが、認知度がかなり高く、多くの人が集まる。同じように、増富においてゴマシジミや貴重な水生生物の生息地を草刈りするような取り組みをしてみてもどうか。一般の市民はエコパークといってもよくわからないという人が多く、一般市民に向けてイベントを常時継続してやっていたら認知度は上がるだろう。

(担当課) 検討する。

(議長) 各小分類の目標や指標については再検討するように願います。

(議長) 甲武信アルプスユネスコエコパーク推進事業について異議はないということよろしいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 本件については承認したものとする。

(事務局) 確認を行う。本件については承認された。担当課においては、頂戴したご意見について業務の参考ととしていただくようお願いする。

(議長) No. 3 世界に誇る「水の山」北杜ブランド推進事業の審議に入ります。担当課に説明を求めます。

(担当課) 資料に沿って説明

(議長) 質疑を求めます。

(議長) 世界に誇る「水の山」北杜ブランド推進事業について異議はないということよろしいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 本件については承認したものとする。

(事務局) 確認を行う。本件については承認された。

(議長) No. 4 環境教育推進事業の審議に入ります。担当課に説明を求めます。

(担当課) 資料に沿って説明

(議長) 質疑を求める。

(議長) 環境教育推進事業について異議はないということでよろしいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 本件については承認したものとする。

(事務局) 確認を行う。本件については承認された。

(議長) No. 5 環境にやさしいイベントづくり事業の審議に入ります。担当課に説明を求めます。

(担当課) 資料に沿って説明

(議長) 質疑を求める。

(委員) (R5) 当初予算が 612 千円に対し、環境保全基金が 0 円であるがどういった意味か。

(担当課) R5 については、市の一般財源により支出している。

(委員) 地域委員会の予算か。

(担当課) R5 の財源としては、ふるさと納税等を充てている。

(議長) R4 については事業が実施されず、R5 は環境保全基金以外のお金を使って 3 回実施、R6 は環境保全基金を使って 8 回実施する予定、ということ。

(委員) 612 千円の予算は、食器の購入費か。

(担当課) リース料にあたる。

(委員) (リユース食器の) 欠損が出た場合は自動的に補填され、追加費用の負担はないということか。

(担当課) イベント毎に必要な数を借り、使用後に返却する方式である。

(委員) イベントが増えると費用が嵩むということか。R5 と R6 の予算が同額であるにもかかわらず、イベント数に差があるがどういうことか。

(担当課) あくまでも予算であり、支出額ではない。R6 に予定されているイベント数でも 612 千円で賄えると考えている。

(議長) 環境にやさしいイベントづくり事業について異議はないということでよろしいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 本件については承認したものとする。

(事務局) 確認を行う。本件については承認された。

(議長) No. 6 里山整備事業補助金の審議に入ります。担当課に説明を求めます。

(担当課) 資料に沿って説明

(議長) 質疑を求める。

(委員) 増富に限らないが、どの地域でも動物による食害が増えている。そのあたりの様相を反映した場合、同じ(事業)コストであれば森林整備の出来る面積が減ると思うが、10 年以上事業を実施する中で、大きな流れとしてこのままで良いか考えを伺いたい。

(担当課) 里山整備事業については平成 17 年度から環境保全基金をいただいて実施をしてきた。その中で、施業面積についても 200ha を目指してやってきた。傾向として、面積も少なくなってきたはいるが、今は伐期であり、これか

ら増加すると考えており、国県に合わせて続けていきたい。一方、動物による食害の実態も、今は申し上げられないが掴んでいる。来年度にはじまる、森林環境譲与税のなかで事業展開できれば良いと考えている。

(委員) (動物による食害は) 他の財源で取り組むという理解で良いか。

(担当課) そのとおり。

(議長) 里山整備事業補助金について異議はないということによろしいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 本件については承認したものとする。

(事務局) 確認を行う。本件については承認された。

(議長) No. 7 その他(事務局事務費)の審議に入ります。担当課に説明を求めます。

(担当課) 資料に沿って説明

(議長) 質疑を求める。

(議長) その他(事務局事務費)について異議はないということによろしいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 本件については承認したものとする。

(事務局) 確認を行う。本件については承認された。

(議長) 議事2番「その他」事務局からの説明を求める。

(事務局) 来年度の市民提案事業について、内容とスケジュールは例年通り実施したい。(R6年)2月に募集を行い、(R6年)4月に検討委員会を実施する。

なお、応募書類については感染症関係の様式を削除することとしたい。

(議長) 質疑を求める。

(議長) (質疑が) 無いようだが、委員側から何か別の案件があるか。

(委員) 特になし。

(議長) 以上で全ての審議が終了となる。ご協力ありがとうございます。

5. 閉会

(司会) お疲れ様でした。相互に例を交わし閉会とします。

午後3時30分終了